

第 38 回 関東支部総会 松生先生顕彰報告 レジюме

2017.06.24 濱崎信郎

- I. 目的：温故知新 母校のルーツを後輩諸君に知らせ、誇りの醸成を期待する。
- II. 手段：母校再建の師 田中先生 松生先生双璧が重要 →並べて建立のため同窓会員に募金お願い
- III. 歴史：太平洋戦争前夜 水産講習所(東京)から両先生招聘 半島、大陸を含む日本国民の食糧確保
- 昭和 16 年 高等水産教育機関の設立
- 昭和 20 年 敗戦引き揚げ
- 海外官立高等教育機 91 うち唯一 母校が存続。
- 初代耕洋丸(70 トン 160hp・鳥取石黒造船)の存在なくして母校なし。
- 3 回にわたる引揚敢行 第一便で萩港 S 20 年 8 月 (松生先生直ちに東京へ)
- 水産講習所(東京)に 370 名の学籍受入れ要請→海軍防備隊あと地に下関分所設立し、收容
- 分所消滅 23.3 月 (2 期生卒業)
- 下関市、水産業界、市民は高等水産教育機関継続を要望
- S 21 年 12 月 「期成会」発足(16.5 万円)
- 第二水産講習所 5 月開校→水産講習所→水産大学校→国立研究開発法人・水産大学校
- IV. 顕彰実行委員会形式 27 年 11 月 7 日(27 年度 1 理事会)で認知
- ☆協賛開始 28 年 4 月 ~28 年 9 月〆切(実際は 10 月)
- ☆胸像制作開始 28 年 7 月
- ☆据 付 28 年 12 月制作完了 12 月 16 日据付
- ☆除幕式 29 年 1 月 28 日(土)
- ☆胸像制作者：日展会員・審査員 田畑 功先生
- V. 募金
- ☆東日本：関東支部振替口座 込取扱票：既存口座使用
- 「松生義勝先生顕彰協賛金」明記 (支部費徴収と分別実行)
- ☆西日本：福岡支部振替口座 新設 同上 募金専用
- ☆協 賛 者：597 名 名簿：別紙
- ☆総募金額：9,372,280 円 別紙収支決算書参照 597 名
- ☆支 出： 7,016,135 円→ 西日本が一括管理
- ☆剰余金： 2,356,145 円→ 滄溟会に寄付
- VI. 監査
- ☆ 内部監査 (中間、本決算) 4/20 G 24 前田宏氏、G 30 青木 剛氏
- ☆ **公認会計士 田中博之事務所** (水大後援会監査) 4/20~5/8
- 公認会計士監査の決算報告書 別紙

以上